

12月11日（土）、福祉のまち推進委員会では東金Stories（バルーンリリース）を開催。東金市や東金市社会福祉協議会後援のもと、東金中央公園を舞台に参加者それぞれの願いを込めた1000個のバルーン（風船）が東金の青空を舞い踊りました。

過去に開催した認知症啓蒙イベント「RUN伴」を東金独自のものとして認知症のみならず障害のある方、高齢者、子どもたちを繋ぎ、人に優しい地域づくりを広めるイベントとして発展させようと考えている中、誰しもがそれぞれの物語（Story）を持ち、その中に様々な思いや願いがある事に着目し「RUN伴東金」から「東金Stories」と名称を変更しスタートしました。



みえないコロナ禍でも、みんなが明るく上を向き、笑顔になることができるはず！と風船飛ばし（バルーンリリース）を計画しました。実施までの道のりはとても険しく、コロナ禍であることも加わり、計画半ばで断念せざるを得ない状況におかれたこともありました。

コロナ禍のため皆さんがそれぞれマスク着用・検温・消毒・事前の体調確認等感染予防対策にご理解・ご協力頂いたこと、東金市・東金市社会福祉協議会・東部地域包括支援センター・西部地域包括支援センター・東金商工会議所青年部等の協力なくしてはこのイベントは開催できませんでした。この場をお借りして心から感謝申し上げます。



東金Stories
願いを込めてバルーンリリース

福祉のまち推進委員会

金Stories!!」の掛け声と同時に1000個のバルーンが東金の空に放たれました。「わあ、綺麗!」「すごい!」等の歓声と拍手、そして沢山の人が飛んでいくバルーンを笑顔で見つめていました。たくさん感動した後は、しっかり環境問題にも向き合うため、会場となった中央公園のゴミ拾いを実施し、興奮冷めやらぬ中終了しました。

職業人に学ぶ〈東金中学校〉

12月1日（水）に東金中学校で中学校1年生を対象として「職業人に学ぶ」をテーマに会員企業13社を講師に招き授業を行いました。この授業は、

- ◆プロの職人の実演を通して、生徒に職業観を感じ取らせ、将来の進路選択に生かせるようにすること。
- ◆地域の人々と触れ合うことによって、地域との連帯感をもたせること。

を目的に開催しました。事前に生徒からアンケートをとり、自分の興味あるクラスを受講しているだけあってプロの技に目を輝かせていました。子供たちの熱心さで予定時間を過ぎるクラス、質疑応答が終わらないクラスもあり、大変に盛況でした。企業側も、自分たちが培ってきた技術が子供たちの教育に役立ち、なによりも子供たちの笑顔、喜びに感激していました。

〈テーマ：講師企業〉

- (1)「髪（紙）と鉛筆で美容師に!?!」:美容室はな
- (2)「美容の仕事ってなんだろう」:ノエビア東京薬販売
- (3)「自動車整備体験をしてみよう」:黒川自動車サービスセンター
- (4)「ドローンの基礎知識を学ぼう」:アーシア
- (5)「接客するうえで大切なことを学ぼう」:SAME OLD
- (6)「和食～寿司作り～から学ぶ」:まほろば～時～
- (7)「ケーキの作り方」:竹屋 不二家ファミリーチェーン店
- (8)「家を長持ちさせる塗装の仕事について学ぼう」:あかつき
- (9)「鍵と錠とセキュリティ」:大島屋
- (10)「電気工事の基礎を学ぼう」:桶田電設
- (11)「チーム医療の中の理学療法士としての役割」:
医療法人 静和会 浅井病院 リハビリ部 身障リハビリテーション科
- (12)「家族が生き生きと生活するための介護予防技術を学ぼう」:
社会福祉法人 清規会 特別養護老人ホーム芙蓉荘
- (13)「看護の基礎を学ぼう」:城西国際大学 看護学部 看護学科



講師の見守る中ではじめてのタイヤ交換

新型コロナウイルスの終息祈願と
地域活性化のために!
希望の打ち上げ花火!

令和3年12月10日（金）新型コロナウイルス終息祈願と地域活性化のため、東金商工会議所・東金商工会議所青年部の協力を得ながら、打上花火を実施しました。

ご協賛いただきました方々、本イベントにご協力いただきました方々、誠にありがとうございました。非常に多くの方々からのご協力を得られ、とても有意義なイベントを開催することができました。これも皆様方のご支援によるものと、心から感謝いたしております。今後とも、これまで同様、ご支援・ご協力をお願い申し上げます。

東金市観光協会

合格おめでとう!

《第159回簿記検定試験》（令和3年11月21日施行）

1級	受験者 14名	合格者	1名
2級	受験者 30名	合格者	11名
3級	受験者 43名	合格者	13名

合格された皆さんおめでとうございます! 上級を目指して頑張ってください!

池の端より（七十八）

《樹の根》

葉を落とした樹でもそれぞれ独自の形をしているので、イチヨウだとか、これはケヤキといったように判断がつく。ところが私たちが見ている形は地上部で、それを支えている地下部、すなわち根はどうなっているのだろう。草花なら掘り上げれば良いが樹はさういう訳にはいかない。谷公園の樹はどの方向から見ても美しいと思う。ということは、もし根を見たらその形も美しいだろう。あれだけの地上部を支えているのだから地下部もそれに合った形をしていると考えるのは至極当然のことのように思われる。しかし実際に近寄ってみると正直傷々しい。地面が固いのか、根は地表に現われ所々踏みつけられている。でも強いもので何度も何度も修復され、木質化シコブのようになっていく。支えるというの大変なことだ。ところで湖畔の寝そべったケヤキは一体どのように支えられているのだろう。想像してみてもいいがどうですか。

細川 隆

毎週開催! **スマホCLUB**

毎週約1時間半、持ち物:スマホ
【2月の教室案内】 参加費:500円

2月4日(金)	10:30~	かくじゅう2F
2月11日(金)	10:30~	かくじゅう2F
2月18日(金)	10:30~	かくじゅう2F
2月25日(金)	10:30~	かくじゅう2F
3月4日(金)	10:30~	かくじゅう2F

新しい生活様式で「取り残され感」のある中高年の皆さん、スマホデビューしませんか?



第78回八鶴湖いきもの調査

空を見て雨対策、雨天決行です。 2/5 SAT

参加費:無料
帽子・タオル、熱中症対策、感染症対策、雨対策、各自で準備をお願いします。

集合:八鶴館ホール 時間:9:00~11:45頃

まちの駅ネットワークとうがね
TEL 0475 (86) 7772